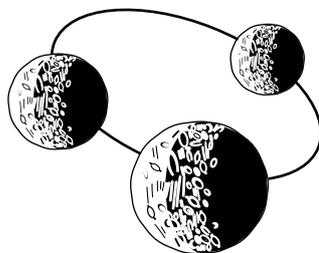


POLYMOON



MANUAL v.1j

MORE THAN LOGIC. UNITING ART + ENGINEERING.

日本語版マニュアル

目次

第1章 POLYMOON各機能解説	2
第2章 グローバルセッティング	3
第3章 デザインコンセプト	4
第4章 シグナルフロー概説	4
第4a節 ダイナミックフランジャー詳説	4
第4b節 デレイラインネットワーク詳説	4
第4c節 デレイネットワークの16個の変調詳説	5
第4d節 デュアルバーバーポールフェイザー詳説	5
第5章 エクスプレッション端子モード詳説	5
第5a節 Expression Pedal	6
第5b節 Tap Switch	6
第5c節 4 Button Preset Switch	6
第5d節 MIDI	6
第6章 ノブのオートスキャン詳説	6
第7章 プリセット詳説	7
第8章 テンポ詳説	7
第9章 MIDI CC一覧表	7
第10章 POLYMOONプリセット1の工場設定	8
第11章 技術仕様	8

第1章 POLYMOON 各機能解説

TIME : デレイタイムやフェイザーのタイムコントロールです。
Altモード : EARLY MODULATION. デレイタップの動作初期モジュレーションを設定します。三角波のLFOモジュレーションが軽めの揺れからFM、ピッチエフェクトのような激しいサウンドまで幅広くコントロールできます。

MIX : ドライ・ウェット音のミックスバランス調整です。
Altモード : DELAY LEVEL. 0 dB から -12 dB の間でウェット信号のデレイレベルを調整します。

MULTIPLY : 本体ノブ周辺に記載されている数字に合わせてデレイタップが付加されます。
Altモード : LATE MODULATION. デレイタップの動作後半のモジュレーション量を調整します。三角波のLFOモジュレーションが、軽めの揺れからFM、ピッチエフェクトのような激しいサウンドまで幅広くコントロールできます。

FEEDBACK : フィードバック量の調整です。
Altモード : FEEDBACK FILTER. フィードバック信号のフィルターコントロール。ノブが12時でバイパスです。午前方向でダークに、午後方向に回すとよりブライトなサウンドになります。

DYNAMICS : Dynamic Flanger の intensity/depth を調整します。最少位置でフランジャーはオフになります。
Altモード : DYNAMIC FLANGER SPEED. Dynamic Flanger Mode に基づいてエンベロープのアタックタイムもしくはLFOの速度を設定します。

ALT FUNCTION : このボタンを押し続けている間、Altモードが有効となります。

SELECT PHASER TYPE : フェイザータイプを選択します。
Slow : ステレオ Barber Pole フェイザー, 0.1 Hz 固定。
Sync : ステレオ Barber Pole フェイザーのスピードをデレイタイムの1/4でシンク。
Slow + Sync : ステレオ Barber Pole フェイザーのスピードをデレイタイムの全音符でシンク。

TAP : デレイタイムとフェイザーのテンポをタップで設定します。
Altモード : DOTTED EIGHTH NOTE. 設定されたテンポを四分音符か付点八分のデレイタイムに変更します。
TAP スイッチをホールドする : デレイタイムをハーフスピードにします。

DIMENSION : Dimension 量を調整します。デレイタップのリピートに滲ませるような音色とサステーンを付加します。
Altモード : DYNAMIC FLANGER MODE. 最小位置で Dynamic Flangerの動作をエンベロープダウン。12時でエンベロープアップ。最大位置でLFOに設定します。

BYPASS : バイパス。
Altモード : DYNAMIC FLANGER FEEDBACK. Dynamic Flanger のネガティブフィードバック量を調整します。

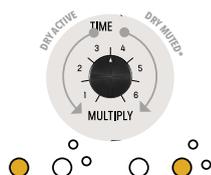
第2章 グローバルセッティング

グローバルセッティングへのアクセス方法：



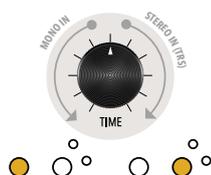
左側の **TAP** フットスイッチの上にある LED ボタンを押しながら電源を投入します（起動には 3 秒を要します）。フロントパネルの全 LED が 3 回点滅します。

KILL DRY：*DRY MUTED 時、Wet モードのみがアクティブになります。パイパス時は本機全体がミュートされます。



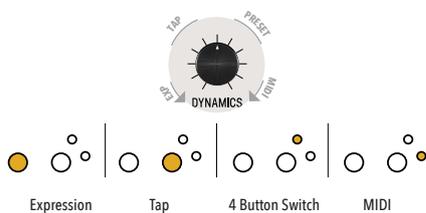
左側 LED は DRY ACTIVE 表示 右側 LED は DRY MUTED 表示

INPUT MODE：

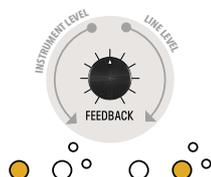


左側 LED は MONO 表示 右側 LED は TRS 表示

EXPRESSION MODE：



LINE/SYNTH LEVEL：



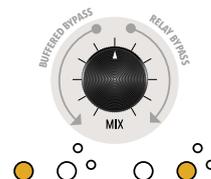
左側 LED は INSTRUMENT LEVEL 表示 右側 LED は LINE LEVEL 表示

MIDI THRU ON：右側フットスイッチでトグル動作



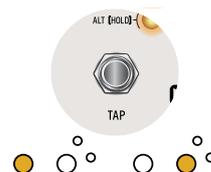
左側 LED は MIDI OUT 表示 右側 LED は MIDI THRU 表示

BYPASS MODE：



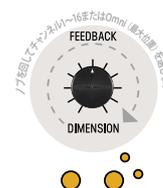
左側 LED は BUFFERED BYPASS 表示 右側 LED は RELAY BYPASS 表示

GLOBAL TEMPO：左側フットスイッチでトグル動作



左側 LED は GLOBAL TEMPO 表示 右側 LED は PRESET TEMPO などの表示

MIDI CHANNEL：

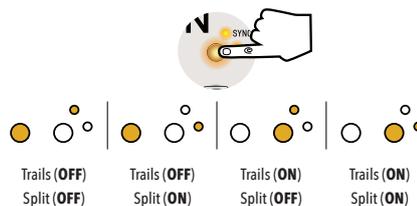


フロントパネルの LED が点滅して二進数を示します。

MIDI チャンネル

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----

TRAILS：



注記：この設定用ボタンは TRAILS と GLIDE の 4 つの異なる組み合わせを提供します。TRAILS を稼動した状態では、本機がバイパスされたときエコーは自然に減衰します。GLIDE の稼動時はプリセット変更中にディレイバッファはクリアされません。ユーザーが 1 つのプリセットから次のプリセットへ滑らかに移る際にエコーは GLIDE によってアルゴリズム内に留まることができます。また、GLIDE の稼動時はタップテンポで入力したディレイ時間は滑らかに遷移します。

第3章 デザインコンセプト

Polymoonの発想の元はアラン・ホールズワースやフランク・ザッパが1980年代のラックディレイを用いてカスケードしたであろう方法にあります。

Polymoonは個々のパラメーターすべてを変調・変化させる能力を大幅に高めることによって、こういったコンセプトを利用可能にします。

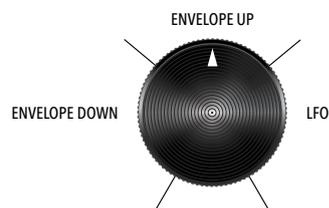
第4章 シグナルフロー概説

Polymoonのシグナルフローはダイナミックフランジャーのペアの並列ミックスから始まります。ダイナミックフランジャーはPolymoonの独特なマルチタップ

の変調ディレイ構造に信号を送り込み、最後にディレイタップはバーバーポールフェイザーのペアを通り抜けます。

第4a節 ダイナミックフランジャー詳説

信号チェーンの最初の要素は第2レイヤーの **DYNAMIC FILTER MODE** ノブによる選択に基づいてピークフォロワーまたは正弦波 LFO によって駆動されるダイナミックフランジャーのペアです。トップレイヤーの **DYNAMICS** ノブはピークフォロワーと LFO の深度 (depth) を変化させ、ノブの最小位置ではダイナミックフランジャーの出力をミュートします。第2レイヤーの **DYNAMIC FLANGER SPEED** はピークフォロワーのアタックタイムまたは正弦波 LFO のスピードを制御します。最後に、第2レイヤーの **DYNAMIC FLANGER FEEDBACK** はネガティブなフィードバックを各フランジャーに追加します。

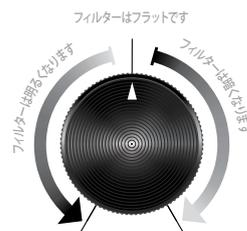


ダイナミックフランジャーのモード選択 (ALT + DIMENSION)

TIP : **DYNAMICS** ノブはピークフォロワーを制御する際にギターの出力やドライブエフェクターにマッチさせるべく入力レベルを受け容れるために幅広いゲインを持っています。低めの **DYNAMICS** ノブ設定で始めて、好みに合わせて高めてください。

第4b節 ディレイラインネットワーク詳説

Polymoonのディレイラインネットワークは、それぞれがそれ自身の出力と変調ソースを持つ6個のディレイとして構成されています。**FEEDBACK** ノブはディレイネットワーク全体に全体的なディレイフィードバックを提供し、Meris社独自のフィードバックフィルターがリピートに彩りを与えます。**MULTIPLY** ノブは各ディレイラインのパンとレベルを制御します。**DIMENSION** ノブは6つの個別の直列ディレイラインのそれぞれについて特別な内部フィードバックを制御します。**MIX** ノブはドライ信号とディレイとの間の全体的なバランスを調節し、第2レイヤーの **DELAY LEVEL (ALT + MIX)** はディレイの微調節を提供します。最後に、**EARLY MODULATION (ALT + TIME)** および **LATE MODULATION (ALT + MULTIPLY)** は一緒に機能してディレイネットワークを変調する6個の三角波 LFO を制御します。



FEEDBACK FILTER (ALT + FILTER)

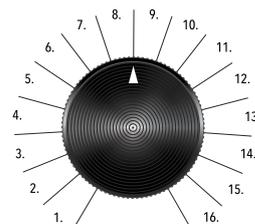
TIP : トップレイヤーの **MIX** ノブを使って **MIX** を設定したら、第2レイヤーの **DELAY LEVEL (ALT + MIX)** ノブを使ってディレイを微調整します。**DELAY LEVEL (ALT + MIX)** ノブを最小位置に設定すると **MULTIPLY** ノブの位置に基づくレベルのオートスケールを稼働させます。

第 4c 節 ディレイネットワークの 16 個の変調詳説

Polymoon はディレイラインネットワークを変調する 6 個の独立した三角波 LFO を特徴とします。三角波 LFO 1 は第 2 レイヤーの **EARLY MODULATION (ALT + TIME)** ノブによって制御されます。ディレイネットワークは直列ですので、このチェーン内の最初のディレイを変調することはすべてのディレイタップに影響を与えます。 **LATE MODULATION (ALT + MULTIPLY)** ノブは主に三角波 LFO 6 を制御します。やはり、ディレイネットワークは主に直列構成ですので、このチェーン内で最後のディレイを変調することで、先の方のタップがそのエフェクトが音になるよりも前に出力を通るようにすることができます。 **LATE MODULATION (ALT + MULTIPLY)** ノブを高めるにつれて LFO 2 ~ 5 は穏やかで補足的な変調に設定されます。 **EARLY MODULATION (ALT + TIME)** ノブと **LATE MODULATION (ALT + MULTIPLY)** ノブの両方を最小位置まで絞ると 6 つの三角波 LFO すべてをバイパスします。

EARLY MODULATION および LATE MODULATION 制御用のノブの区分け：

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 変調停止 | 9. FM 変調 - 96 Hz |
| 2. 低速で浅い深度 | 10. 長 2 度下 & 長 2 度上 |
| 3. 中速で浅い深度 | 11. オクターブ下 & 短 3 度上 |
| 4. 中速で深い深度 | 12. 完全 5 度下 & 完全 4 度上 |
| 5. 高速で深い深度 | 13. トレモロミュート + 完全 4 度上 |
| 6. 高速で極端に強調された深度 | 14. オクターブ下 & 完全 5 度上 |
| 7. FM 変調 - 24 Hz | 15. 完全 5 度下 & オクターブ上 |
| 8. FM 変調 - 48 Hz | 16. オクターブ下 & オクターブ上 |



第 4d 節 デュアルバーバーポールフェイザー詳説

ディレイラインネットワークの出力部で、Polymoon はステレオスペクトルの各側に 1 つずつバーバーポールフェイザーを 2 個持っています。各フェイザーは幅広いステレオ音場を生み出すべく反対の方向に進んで再生成するように設定されます。トップレイヤーのフェイザー選択ボタンで、0.1 Hz の固定速度 (SLOW

LED 点灯)、四分音符のディレイ時間とリンクした速度 (SYNC LED 点灯)、全音符のディレイ時間とリンクした速度 (SLOW および SYNC LED の両方とも点灯)、そしてバイパス状態 (SLOW LED 消灯) から選択することができます。

第 5 章 エクスプレッション端子モード詳説



エクスプレッションペダル用の端子はグローバルセッティングにて選択可能な 4 つの異なる操作モード—— Expression Pedal, Tap Switch, 4 Button Preset Switch, MIDI ——を提供する多機能ジャックです。

第5a節 Expression Pedal

エクスプレッションペダルはすべてのノブの値（第2レイヤーのノブの値も）の設定をその2セット間で変化させます。つまり、完成した性質の異なるプリセット2個の間を、エクスプレッションペダルを使って変化させることができます。まず、エクスプレッションペダルを「トゥアップ（つま先の上がった）位置」にして、各ノブを希望するように設定します（第2レイヤーのノブも含めて）。次にエクスプレッ

ションペダルを「トゥダウン（つま先の下がった）位置」にして、各ノブを第2のサウンドを作るように設定します。これでエクスプレッションペダルをヒールからトゥまでスワイプすれば、この2セットの設定間を滑らかに変化することができます。MIDI CC #04 を用いてエクスプレッションペダルを操作することも可能です。



第5b節 Tap Switch

Polymoon の場合、外部スイッチはタップテンポを制御し、本体にある TAP フットスイッチと同じ機能を持ちます（これは半速も含みます）。本体の TAP フットスイッチの場合と同様に、外付けした TAP スイッチを押したままにするとディレイは半速で動作するようになります。

第5d節 MIDI

Polymoon は EXP ジャックを介した MIDI 入出力を備えており、豊かで深い MIDI 実装を行ってあります。すべてのノブや別機能、エクスプレッションペダル、そしてスイッチは MIDI CC を介して利用できます。プログラムチェンジメッセージを受信したり（MIDI PC）、MIDI ビートクロックに同期したり（Polymoon）することができます。またプリセットを送受信することも可能です。

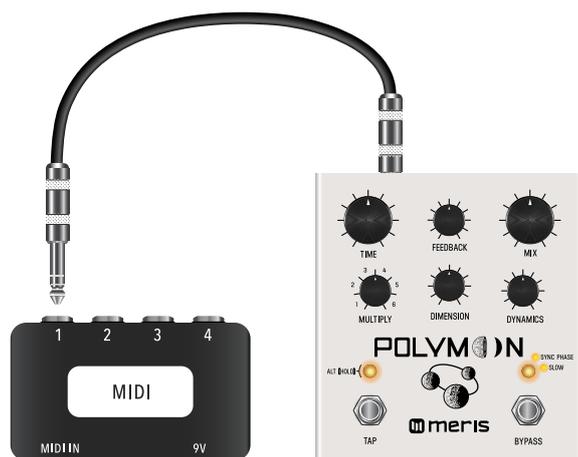
必ずグローバルセッティングで希望する MIDI チャンネルを設定してください。複数の機材を MIDI に連続してつないである場合、ユーザーは各機材をそれぞれ自身のチャンネル上でモニターしたり送信するように設定したいはずで、本マニュアル巻末の MIDI CC 一覧表も参照してください。

第6章 ノブのオートスキャン詳説

選択されている EXP ジャックのモードに応じて、Polymoon は電源投入時にトップレイヤーのノブをスキャンしてノブを更新します。Polymoon はその EXP ジャックのモードが Expression Pedal または Tap Switch のいずれかに設定された場合、起動時にノブをスキャンします。つまり、本機がオフのときであってもユーザーがノブ設定を変えた場合、次回本機の電源を入れたときに本機がどのような音になるかはそれらのノブの値で決まるということです。また、テンポならびにフェイザーのタイプは自動的に保存され、最後に本機が通電されていたとき

第5c節 4 Button Preset Switch

Meris 社製の4ボタンスイッチを接続してある場合、このモードはプリセット1～4へのアクセスと即座の稼働を提供します。



の設定に戻ります。これらの挙動は従来のギターペダルの動作を模倣するためのものです。Polymoon はその EXP ジャックのモードが 4 Button Preset Switch または MIDI のいずれかに設定された場合、シンプルに現在のメモリー位置内に保存されているプリセットを呼び出します。この設定によって、演奏のために正確なサウンドを呼び出すことに確信を持ちたいユーザーのために、Polymoon は確実に標準的なマルチプリセットの機材のように動作するようになります。

第7章 プリセット詳説

Polymoon には 16 個の内部プリセット位置があります。最初の 4 つのプリセットには互換性のある 4 ボタンのフットスイッチでアクセスでき、全 16 個のプリセットには MIDI のプログラムチェンジメッセージでアクセスできます。プリセットを保存するには単純に ALT ボタンを長押しします。プリセットはユーザーが ALT+ (第 2 レイヤー) ノブを編集するたびに保存されます。このようにして電源が切られたあとに、Polymoon はユーザーの設定をそのメモリー内に保つことができようになっています。プリセットを現在の位置とは別の位置に保存するには、互換性のある 4 ボタンフットスイッチ上の希望するプリセットボタンを押すか、プログラムチェンジメッセージを MIDI 経由で編集したいプリセットに送信します。

変更を行ったあとには ALT ボタンを長押しして保存してください。Polymoon は MIDI システムエクスクルーシブデータを介してプリセットを送受信できます。プリセットを Polymoon からコンピューターに送信するには ALT ボタンを押しながら BYPASS フットスイッチの上にある LED ボタンを押します。Polymoon はプリセットデータをつねにモニターしていますので、コンピューターにバックアップしてあったプリセットを Polymoon に単純に送り返せば、その送ったデータでプリセットを上書きします。新たに受信したプリセットに満足できたら ALT ボタンを押すだけです。Polymoon はそのデータを現在のプリセット位置に保存します。

1. Meris社プリセットスイッチを使用する場合

- Merisペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODEを4 Button Switchに設定します。(各ペダルのマニュアル参照)
- プリセットスイッチとMerisペダルをTRSケーブルを使用し、接続します。
- 保存したいスイッチを押し、保存したいサウンドを作ります。
- 完成しましたらALT (HOLD)スイッチを長押しします。
- これでプリセットスイッチの該当の番号にプリセットが保存されます。

2. MIDI装置を使用する場合

- Merisペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODEをMIDIに設定します。(各ペダルのマニュアルを御覧ください)
- Meris社のMIDI I/Oを介してMIDI装置とMerisペダルを接続します。
- 保存したい番号のプログラムチェンジメッセージをMerisペダルに送信します。
- 保存したいサウンドになるようにMerisペダル本体の設定を変更します。
- 完成しましたら ALT (HOLD) スイッチを長押しします。
- 該当のプログラムチェンジ番号にプリセットが保存され、プログラムチェンジメッセージを送信することでプリセットが呼び出されます。

ファクトリーリセット

電源投入時にMODE ボタンを押し続けていることで全プリセットならびに全グローバル設定をそれぞれの工場出荷時の状態にリセットできます。

リセットが完了したら本機の電源を入れ直してください。

第 8 章 テンポ詳説

Polymoon では本体 TAP フットスイッチ, 外部 TAP スイッチ, MIDI ビートクロック, テンポ MIDI CC, タップスイッチ MIDI CC のいずれかを用了四分音符での

タッピングでテンポを設定することができます。Polymoon の最大ディレイ時間は 1,200 ms です。

第 9 章 MIDI CC 一覧表

CONTROL CHANGE	POLYMOON CONTROL	RECEIVE VALUE RANGE	TRANSMIT VALUE RANGE
CC# 04	EXPRESSION PEDAL	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 09	DOTTED 8TH	0 ~ 63 = 1/4 NOTE 64 ~ 127 = DOTTED 8TH	0 ~ 63 = 1/4 NOTE 64 ~ 127 = DOTTED 8TH
CC# 14	BYPASS	0 ~ 63 = FX BYPASS 64 ~ 127 = FX ENABLE	0 = FX BYPASS 127 = FX ENABLE
CC# 15	TEMPO (10 ms 間隔)	0 ~ 120	0 ~ 120
CC# 16	TIME	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 17	FEEDBACK	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 18	MIX	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 19	MULTIPLY	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 20	DIMENSION	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 21	DYNAMICS	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 22	EARLY MODULATIONS	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 23	FEEDBACK FILTER	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 24	DELAY LEVEL	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 25	LATE MODULATION	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 26	DYNAMIC FLANGER MODE	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 27	DYNAMIC FLANGER SPEED	0 ~ 127	0 TO 127
CC# 28	TAP	127 = TAP PRESS	127 = TAP PRESS
CC# 29	PHASER MODE	0 ~ 31 = PHASER OFF 32 ~ 63 = PHASER SLOW 64 ~ 95 = PHASER WHOLE NOTE 96 ~ 127 = PHASER 1/4 NOTE	0 = PHASER OFF 63 = PHASER 0.1 Hz 95 = PHASER WHOLE NOTE 127 = PHASER 1/4 NOTE
CC# 30	FLANGER FEEDBACK	0 ~ 63 = FEEDBACK OFF 64 ~ 127 = FEEDBACK ON	0 = FEEDBACK OFF 127 = FEEDBACK ON
CC# 31	HALF SPEED	0 ~ 63 = FULL SPEED 64 ~ 127 = HALF SPEED	0 ~ 63 = FULL SPEED 64 ~ 127 = HALF SPEED

第 10 章 POLYMOON プリセット 1 の工場設定

EXPRESSION	PARAMETER	KNOB POSITION	REAL WORLD VALUE	MIDI DECIMAL	MIDI HEX
TOE UP	TIME	1 時少し前の位置	760 ms のディレイ時間	80	50
TOE UP	FEEDBACK	2 時を少し過ぎた位置	80% のフィードバック	101	65
TOE UP	MIX	2 時の位置	100% のドライ, 90% のディレイ	93	5D
TOE UP	MULTIPLY	MIN	ディレイタップ× 1	0	00
TOE UP	DIMENSION	MIN	ディレイタップのスマアリング(汚し)なし	0	00
TOE UP	DYNAMICS	MIN	ダイナミックフランジャー停止	0	00
TOE UP	EARLY MODULATION	8 時の位置	遅く浅い変調	5	05
TOE UP	FEEDBACK FILTER	12 時の位置	フィルター停止	63	3F
TOE UP	DELAY LEVEL	MIN	オートレベリング稼動	0	00
TOE UP	LATE MODULATION	8 時の位置	遅く浅い変調	4	04
TOE UP	DYNAMIC FLANGER MODE	MIN	エンベロープダウン	0	00
TOE UP	DYNAMIC FLANGER SPEED	12 時の位置	オートレベリング稼動	62	3E
	PHASER	N/A	フェイザー停止	0	00
	TEMPO	N/A	760 ms のディレイ時間	76	4C
	DOTTED 1/8 NOTE	N/A	四分音符タップ稼動	0	00
	DYNAMIC FLANGER FEEDBACK	N/A	フランジャーのフィードバック停止	0	00
TOE DOWN	TIME	1 時少し前の位置	760 ms のディレイ時間	80	50
TOE DOWN	FEEDBACK	2 時の位置	76% のフィードバック	97	61
TOE DOWN	MIX	3 時の位置	100% のドライ, 100% のディレイ	111	6F
TOE DOWN	MULTIPLY	1 時少し前の位置	ディレイタップ× 4	79	4F
TOE DOWN	DIMENSION	3 時少し前の位置	83% のディメンション	105	69
TOE DOWN	DYNAMICS	MIN	ダイナミックフランジャー停止	0	00
TOE DOWN	EARLY MODULATION	9 時を少し過ぎた位置	中庸な速度, 深い深度	18	12
TOE DOWN	FEEDBACK FILTER	12 時の位置	フィルター停止	63	3F
TOE DOWN	DELAY LEVEL	MIN	オートレベリング稼動	0	00
TOE DOWN	LATE MODULATION	9 時の位置	中庸な速度, 浅い深度	8	08
TOE DOWN	DYNAMIC FLANGER MODE	MIN	エンベロープダウン	0	00
TOE DOWN	DYNAMIC FLANGER SPEED	12 時の位置	中庸なエンベロープ速度	62	3E

第 11 章 技術仕様

変換	24 ビット A/D および D/A
DSP	32 ビット浮動小数点
サンプルレート	48,000 Hz
入力インピーダンス	1 M Ω
S/N 比	115 dB
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
最大入力レベル	+9 dBu (INST レベル設定) +12.5 dBu (LINE/SYNTH レベル設定)

電源	DC 9 V, 150 mA, 2.1 mm ジャック (センターピン=ネガティブ)
バイパス	トゥルーバイパス (リレー) またはアナログバッファァー済みの選択式バイパス
寸法	W 108 mm × D 114 mm × H 51 mm
重量	414 g

Mix Wave®

Meris 社日本代理店 ミックスウェーブ株式会社

〒154-0014 東京都世田谷区新町 2-3-2-3F

電話番号: 03-6804-1681 Email: sales@mixwave.co.jp Fax: 03-5450-8201

Web: http://www.mixwave.co.jp

本書は米国 Meris 社の許諾を得て同社の『POLYMOON Manual v.1j (2018年10月5日発行)』をミックスウェーブ株式会社が翻訳・編集したものです。無断複写・転載を禁じます。

Japanese Edition, © 2019 Mix Wave, Inc. All rights reserved.